

1. 議 事

(1)特定教育・保育施設等の利用定員設定について

特定教育・保育施設等に係る利用定員の設定について、委員に意見を求めました。

提出された意見について事務局より下記のとおり説明を行い、本議題について承認されました。

委員意見等
<p>現場の保育園から考えると、3歳児クラスの定員を増やすことは必要だと思います。 大和市においては3歳未満児の保育園が多くできており、3歳になる子供たちの受け皿が問題となることは必至でした。 当園は、2歳未満の2つの園と連携契約を結んでいます。このように2歳児の定員を減らして3歳児の受け入れ枠を増やしたことは良かったと考えています。</p>
<p>(1)国が示す公定価格と利用定員毎の単価の表があると参考になります。</p> <p>(2)新園4園のうち3園が株式会社設立となっております。考え方に「安定した施設運営」とありますが、株式会社全体での安定性の評価はどのように行われているのでしょうか。</p> <p>【事務局より】 (1)別紙「令和3年度公定価格単価表(抜粋)」のとおりです。本市は10/100地域となります。</p> <p>(2)株式会社の運営法人から設置認可に関する申請があった場合は、神奈川県が定める保育所設置認可に係る行政指導指針に基づき、財務状況や、経営担当役員及び実務を担当する幹部職員が社会福祉事業等に関する知識又は経験等を有することについての確認をしています。 また、開所後には毎会計年度終了後3か月以内に、決算書とともに現況報告書の提出を求め、財務状況を確認しています。</p>
<p>施設・設備等のハード面においては、すばらしく計画・実施されていると思います。 待機児童0(ゼロ)を目指すため、定員数が多く設定されていることも市の目指すところで、すばらしいと思います。 子どもの数は減少傾向と思われませんが、働く母親の増加を見越して、保育希望者の増加も考慮されていると思います。 アフターコロナ！ハード面のみならず、希薄になったコミュニケーション力等を考えると、幼児教育の抱える課題は厳しいと思われれます。 今後とも、幼児教育先進市として、他市に誇れる大和市であってほしいと思います。</p>
<p>待機児童が発生しないように、かつ、きめ細やかな対応をしていくためにも、計画的な定員設定は必要です。保育所等が利益優先にならないように、担当課においても適切な指導をお願いします。</p> <p>【事務局より】 民間保育所等の保育の質を確保するため、本市では、ほいく課や公立保育園の保育士が巡回支援指導員として保育所等を定期的に訪問し、保育の安全の確認を含めた助言等を行っています。</p>
<p>大和市は待機児童ゼロを強く掲げていますが、毎年次々と保育園が新しく開所されており、需要と供給のバランスが合っているか気になります。 働きやすい環境が確保されるのはありがたいことではありますが、純粋に子育てしやすい環境がますます充実されていくことを望みます。(子育てしやすい＝働きやすい、子どもを預けやすい ではないと思います。)</p> <p>【事務局より】 本市では、第二期大和市子ども・子育て支援事業計画において教育・保育の量の見込みと確保方策を定め、本計画に基づき保育所等の整備を行っています。本計画では共働き世代の増加により、今後も保育需要の増加を見込んでいますが、保育所等申請率の伸びが徐々に緩やかになる見込みであることを踏まえて、新たな施設整備数を精査し、既存施設の改築による定員拡大等も検討しながら待機児童ゼロの継続を目指すとともに、子どもを安全に預けることができる保育の質の向上にも努めてまいります。</p>

その他
<p>子どもへの虐待事件続く昨今、子育て支援に力を注ぐ市でもなかなか踏み込めない案件もあるのだと思います。それでも、大人として、このままにしては絶対にだめだと思います。子ども・子育て会議は違う目的かもしれませんが、何とかしなければ・・・と投げかけておきます。</p>